



原爆ドーム

原爆ドーム前を流れる元安川で行われた灯籠流し。平和記念式典後、日が暮れた後も多くの人々が平和を祈った。6日夜、広島市

ヒロシマ

「あの日」から70年。被爆地の今を伝えようと、7月下旬から広島と長崎を訪ねた。今も残る遺構や慰霊碑が静かに原爆の惨状を物語る。8月6日と9日、それぞれの「原爆の日」は深い祈りに包まれた。犠牲者を悼み、平和を強く願う被爆者や遺族。若者たちは体験の継承を誓い、核兵器廃絶を訴えた。「過ちは繰り返さない」「ここを最後の被爆地に」。ヒロシマ、ナガサキの思いをどう受け止めるのか。15日、70年目の終戦の日を迎える。(横松敏史)



灯籠流し

元安川の水面に浮かぶ色とりどりの灯籠。犠牲者の冥福と核廃絶を願う人々の列が続いた。6日夜、広島市

平和な次代 祈る被爆地

70年目の広島、長崎訪ねて

署名集め



と力を込めた。11日午前、広島市

核廃絶の署名を呼び掛ける広島女学院高の生徒ら。2年の難波華子さん(右)は「被爆者が生きている」ちに実現したい」



原爆死没者慰霊碑

碑。奥には原爆ドームが見える。世界各国から多くの人が訪れ手を合わせる。11日午後、広島市

平和記念公園のほぼ中央にある原爆死没者慰霊

パノラマ

平和記念資料館内にあるパノラマ。小型の太陽とも言われる原爆の火球と市街地を示す。7月29日午前、広島市



ナガサキ

手を合わせ

日午前、長崎市

平和祈念像の前で、手を合わせる人々。多くの人が祈りをささげた。9



浦上天主堂遺壁

れ、原爆の惨状を今も残す。8日午後、長崎市

浦上天主堂の遺壁(手前)と原爆落下中心地碑。遺壁はこの場所に移築さ



平和の泉

平和公園にある「平和の泉」。水を求め亡くなった被爆者の冥福を祈る。8日午前、長崎市

